

# 成願寺

季報  
109

平成 28年6月18日  
(2016年)

## 目次

「素直な心で合わせる手」滝口順浩……………	1
「成願寺観音奉賛会に参加して」川本文雄……………	4
観音詣りの報告……………	5
山内短信……………	8

発行 多宝山成願寺  
〒164-0012 東京都  
中野区本町 2-26-6  
電話 03-3372-2711  
制作 地人館

平成二十八年春の観音詣り説教

## 素直な心で合わせる手

目黒区天台宗 目黒不動尊灌泉寺住職 滝口順浩

成願寺観音奉賛会の皆様、よくおいで下さいました。前回の参拝が平成七年でございましたので、

約二十年ぶりにお目にかかりました。



昨日は春の雨が降り、境内の木々が洗われましたので、本日は新緑が本当に美しいです。風がちよつと強いところが玉に瑕ですが、お天気に恵まれました。皆様の巡拝が無事に滞りなくできますことを、まずはお祈りさせていただきます。

## 成願寺三十三世 小林義堯大和尚供養会のお知らせ

中野たから幼稚園創設者 当山先住舜学義堯大和尚（昭和五十九年七月十四日遷化）三十三回忌を迎えます。就いては左記次第にて法要を行ないます。先住と縁深い方々の御随喜御来臨頂ければ誠に幸甚です。

住職 小林真人 拝請  
… 御来臨頂ける方はお手数ながら御一報下さい …

## 記

七月十一日  
朝十時半 受付開始  
十一時半 開山・歴住諸大和尚報恩供養（約十分）  
引き続き 舜学義堯大和尚三十三回忌供養（約十五分）  
導師 滋賀県東円寺住職 藤木道明老師

## 孟蘭盆先祖まつり（おせがき）のお知らせ

七月十一日  
午後一時 説教 山岸弘文老師  
群馬県泰寧寺住職 元大本山總持寺副監院  
午後二時 孟蘭盆法要・檀信徒総供養

\*七月十三日から十五日は東京地方はお盆を迎えます。本年より新たに柵経を希望される方は、寺務所までお申し込みください。

当山の本尊様はお不動様です。破邪はじゃけんしやう顕正の明王として、私たちの愚かな行ないや間違いを打ち破り、正しい教えに導いてくださる大変ありがたい仏様です。お不動様は、この辺りでは成田や高幡などが有名で、関東で大変に人気が高い。観音様は、関東でももちろん人気がございますが、西国の札所などを見ますと、その歴史はとても古く、元々は関西で人気があるように思います。

当山のお不動様は平安時代、慈覚大師円仁様の作と伝えられ、千二百余年の歴史がございます。全国的には当山のお不動様と、熊本の木原不動様、そして成田のお不動様で日本三大不動と言われ、古くより信仰を集めています。

また、観音様は、江戸観音の結願札所でございます。聖観音、千手観音、十一面観音をお祀りしております。浅草寺様が出発点で、最後が目黒の観音様。昔から、一番最後のこの観音様を参拝すれば、札所全ての観音様を拝んだことになると言われ、大変に御利益のある観音様として親しまれております。

それから境内には、大きなお地藏様もいらして、両脇には閻魔様と奪衣婆だつえはが安置されています。江戸時代に地藏信仰が確立されてから、この地にずつ

と祀られています。

このように皆様から人気の高い、お不動様、観音様、お地藏様、他にも不動明王の本地仏であられる大日如来様、阿弥陀様等多くの仏様がこのお寺に安置され、千年以上の時を信仰の力によって大切に護られてきました。そういうことを思いますと、いつの時代の方々も、目黒にお詣りに来れば、なにか良いことがある、心の拠り所となる、そんな信仰心を感じるわけでございます。

子どもがいなくて寂しいという人がお詣りに来られた。後日、お子さんができたとお聞きしますと、嬉しく思います。お不動様も喜んでいらっしゃるな、と思います。ところが宝くじに当たりますようにと一生懸命拜んでも、当たらないんですね。そういう



大日如来像

ことの意味を時たま思い起こしてみますと、素直に手を合わせると、その心、それがいちばん大事かと思うのです。とりとめも

なく話をしておりますが、なにかさういう、とりとめもないことの中に本当の信仰があるような気がしてならない。

お不動様や、お地藏様や、観音様、いろいろな仏様に祈ったその結果よりも、仏様の前に立ったときに手を合わせるのが自然にできた、その心が大事なのだということを、今日はお話したかったです。

### 若い世代に伝えること

私も八十五歳を過ぎましたら、上手く舌が回らなくなりました。しかし、生まれたときから年を取りやがて老いることは分かっています。前へ進むということは年を取ることであり、そしてそれはまた積み重ねである。その日々の積み重ねをどう過ごすのが大事なのです。

年寄りの言うことは聞くものだと思いますが、やとその意味が分かっってきました。若いときには、「なにを言ってるんだ。親爺うるさいことを言うな」、なんて思っていました。しかしそうではなかったんですね。年を取った方の話というのは、含蓄があります。ですから、親子兄弟みんな仲良く毎日を生活する。このごろは家族が揃ってご飯を食べる習慣がな

くなったように思います。戦後、進駐軍がきて、コッペパンなるものが入ってきた。だいたいあれは立って歩きながら食べるようですね。それから日本人の食生活が変わってしまった。この頃は、ちやぶ台を出してお茶碗を並べて、みんなが揃って食べるなんてことがなくなつて、椅子席になったら勝手に来て食べて、美味いとか不味いとか言ってる。なにか寂しいな、ということを感じるのです。

今日お集まりの方々は、なるべくみんなでご飯を召し上がっていただきたい。そのときに皆さんが若い人になにか話し、それが一日の出发点として、今日の幸せがあると実感していただければと思います。どうか皆さん、一つ一つの生活、昔からあった生活のありようというものを思い起こして、若い人たちに伝えていかなくはならないことがあると信じて毎日をお過ごしください。そのことが、精進という言葉になつてくるのだろうと思つわけです。

毎日毎日を元気に前へ進んでいく、その精進する心意気、我々年寄りみんなで自分の持っている文化を次の人へ伝え、そして幸せな日本、国民がみんな仲良く幸せに平和に暮らせる時代を作っていきたいと、願っております。

## 成願寺観音奉賛会に参加して

川本文雄

今回はじめて成願寺主催の日帰り奉賛会に参加しました。参加したきつかけは、この度成願寺世話人の末席を仰せつかり、何もわからない中で、先ずは出来るだけ行事に参加してみようと思い立ち、参加しました。

今までこのような神社仏閣を主としたツアーに参加したことはなく、参加することに意義を見出していました。当日集合場所に到着し、参加者が五十人を超える人数に驚き、持参した輪袈裟をかけ、観音像の前でお経を唱える儀式と、通常の観光ではないことを改めて感じた次第です。

ツアーは四力所の神社仏閣を回り、昼食は有明にある和倉温泉加賀屋のレストランで食しましたが、一日非常に有意義に過ごすことが出来ました。

とくに昼食前の二か所に



出発前、読経後に焼香する一行

ついては、今回のツアーに参加しなければ、なかなか経験出来ることなく、二か所の関係者の方々から親切丁寧なご説明もいただきました。

まず一か所目の明治神宮は、私も毎年初詣に足を運んでおり、熟知しているものと勝手に思っていました。しかしながら説明を伺っているうちに、何も知らないことを痛感しました。

皆様は「代々木」の地名の由来をご存知でしょうか。また原宿駅から南参道を歩かれると右手に日本酒の樽が積み上げられており、左手にワインの樽が積み重ねられています。何となく日本酒の樽は道理に適っています。何故ワインの樽があるかお分かりですか。私はお恥ずかしながら知りませんでした。目から鱗が落ちる思いでした。その他にも多くの知らないことを教えていただき、またご祈禱までしていただきました。

二か所目の目黒不動尊は初めてお参りしました。よくお名前は耳にしたことがありましたが、目黒の住宅密集地にかくも広大な敷地のお寺があることに驚き、その歴史の深さに自身の知識の浅さを思い知らされました。こちらでも説明を伺いながら、驚きの連続でした。仁王門から男坂を上ると立派な大本



縦の木の前で説明をいただく

堂が現れます。もしも何も知らない私でしたら、お参りしてそのまま今来た道を引き返していたと思います。しかしながら案内を受けお堂の裏側に回ってみると、立派な大日如来像が現れました。本当にびっくりしました。説明の後、住職からごあいさつもあり、充実した一日を過ごせました。

最後に成願寺に戻り、観音像の前でお経を唱え解散になりましたが、まだ参加したことのない方々に、博学のためにも是非お薦めいたします。 合掌

## 観音詣りの報告

平成二十八年四月二十九日（金）、成願寺恒例の観音奉賛会「明治神宮のご祈禱と東京名刹」めぐりの旅が行なわれました。

七時半に境内に集合した参加者は約五十名。定刻に観音堂でご住職によるご祈禱が行なわれ、観音堂正面でお参りしている参加者一人一人に転鬪てんげんを施しました。

ご祈禱後、山門前に待機

しているバスに乗車。一路明治神宮に向かいました。天気は上々でしたが、風が強めで肌寒さを感じるほどでした。

## ◎明治神宮参拝

成願寺から明治神宮まではわずか六キロメートル、早朝で混雑もなく二〇分で明治神宮文化館前の駐車場に到着。ご案内くださった権禰宜の鈴木眞斗様は、「全国鈴木会」のメンバーで、中野長者鈴木九郎の關係で成願寺とも縁の深い方です。今回の奉賛会にも、「鈴木会」のメンバー五人の方が参加してください。

駐車場から神楽殿までの参道を歩きながら、いくつかの名勝をご案内いただきました。はじめに拝見したのは「代々木」の地名となった縦の木。昔から代々この地に縦の大木が育っていたということで、現在すつくと立っているのは、戦災で焼けた跡に植え継いだものです。

そこから歩いてすぐのところには「清正井」があります。江戸時代初期、この地には加藤清正の下屋敷があったそうですから、伝説通り清正が掘ったということもあるかもしれません。四季を通じて十五度

前後の水温で毎分六十リットルの水量があるといい、明治天皇・昭憲皇太后がたびたび行啓なさったとのこと。



手水舎でお清めをする一行

さらに数十メートル歩くと、神楽殿に向かう道の右側に菰樽が縦五、六段、横三十数列にわたって奉納されていました。明治神宮に永年奉納している甲東会、明治神宮全国酒造敬神会会員や全国各地の酒造家から献納されたものです。菰樽の奉納は、規模の大小はあっても、いろいろな神社で見られますが、その向かい側に並べられたワインの樽はなかなか見られない風景でした。縦三段、横二十数列にわたって奉納されたワインの樽は、西欧文化を積極的に取り入れられた明治天皇に敬意を表してフランス・ブルゴーニュ地方の醸造元各社から献納されたものだということです。

参道を直角に左折すると大鳥居があります。日本で一番大きい木造の「明神鳥居」ということです。大正九年に創建されましたが、現在あるものは戦後の昭和

五十年に篤志家により新たに建て替えられたものです。その大鳥居をくぐり、大看板に記された明治天皇・昭憲皇太后の御製・御歌を拝読しながら右折すると、ようやく神楽殿が見えてきます。

各自、参道左手にある立派な手水舎で手や口をすすぎ、神楽殿内へのご案内いただきました。厳かな雰囲気の中、祝詞を上げていただき、二人の巫女さんによるお神楽の舞いを拝見させていただきました。撮影は禁止だったので写真が残っていないのが残念。

#### ◎目黒不動尊参拝・法話拝聴

無事、充実しきった明治神宮での拝観が終わり、次の目的地は目黒不動尊。若いお坊様が境内の案内をしてくださいました。入り口にある「水かけ不動明王」の祀られた独鈷の滝は、堂宇の建立を決意された慈覚大師が法具の独鈷を投じたところに泉が現れたという伝説があります。それにちなんで瀧泉寺と名付けられたとのこと。さらに大本堂に至る参道に男坂・女坂の二種類があること、ここに祀られている狛犬が東京で最古のもだということなどを懇切丁寧に説明いただきました。

本堂裏手に祀られている大日如来様、さらに女坂



観音堂にて読経

の途中に祀られている神変大菩薩（役小角）を参拝した後、観音堂で参加者一同声を揃えて般若心経を誦読させていただきました。読誦後、阿弥陀堂にご案内いただき、お茶をごちそうになりながら、ご住職のお話を伺いました（一頁参照）。

◎ 駆け足で最後の行程を往く

昼食の後、最初に訪問するのは豊川稲荷東京別院。ここでも御法話を頂く予定でしたが、すでに三時を回っており大急ぎで記念撮影だけ済ませて、最後の目的地、とげぬき地蔵のある巣鴨・高岩寺へ。

朝から風の強い日でしたが、駐車場から高岩寺への道はビル風も加わって台風並みの強風でした。しかし、皆さん勇んで先ずは本堂にご挨拶。名物の「洗い観音」前には百人以上の人々が列をなして順番待ち。ここからは、列に並ぶ人、巣鴨地蔵通り商店街に繰り出す人とそれぞれ自由行動になり、三々五々散って行きました。強風の影響で少し肌寒くなり、

五時前には皆さんバスへと戻ってきたため、予定を早めて帰路につきました。

まだ明るさの残っているうちに成願寺に到着し、観音様にお参りを済ませて解散となりました。合掌

文化財防火デー消防演習の報告



文化財防火デー消防演習の様子

昭和二十四年（一九四九）、奈良法隆寺の金堂が

火災に遭い、日本最古の壁画を焼失。この事故を教訓に制定されたのが文化財防火デーです。去る一月二十六日（火）、中野消防署、東郷町会防災会、中野消防団第八分団、成願寺自衛消防隊の合同で演習が行なわれました。中野たから幼稚園や近隣の園児も見学を訪れ、本堂に向け放水が始まると大きな歓声があがりました。

## 山内短信

### ◎秋の観音詣りのお知らせ

十一月九日（水）からの一泊で、旧海軍飛行予科練習生制度の貴重な資料を展示する「予科練平和記念館」の見学と福島県会津地方の名刹を巡拝します。宿は東北有数のラジウム含有量を誇る名湯・母畑温泉「八幡屋」を予定。

九日：成願寺朝七時集合・ご祈禱後出発―常磐道―茨城県阿見町「予科練平和記念館」見学―福島県東白川郡塙町「木の博物館」見学―母畑温泉「八幡屋」泊  
十日：鳥追観音如法寺―立木観音恵隆寺―中田観音弘安寺―成願寺十九時半帰着予定

### ◎中野坂上お寺ヨガ 夏季限定朝ヨガ開講

昨年好評の朝ヨガ、今年も開講しています。清々しい呼吸とともに、一日をスタートさせましょう。

【場所】成願寺南書院一階

【日程】毎週金曜日 朝七時～八時

【金額】千五百円／回

お申し込み、お問い合わせは「中野坂上お寺ヨガ」ブログを参照し、予約フォームからどうぞ。

### ◎第七回 「和久和久会」夏の体験お茶会のご案内



裏千家の体験お茶会を開催します。幼児・小学生が中心ですが大人の方も参加可能です。丁寧なお辞儀の仕方・お茶のいただき方が体験でき、毎年好評なお茶会です。ご友人同士、また親子そろって是非お出かけ下さい。

【日時】七月十六日（土）

集合時間は申し込み時にお伝えします。

【場所】成願寺南書院

【参加費】無料

【持ち物】特にありません。服装自由（普段着）。

\*参加希望の方は七月五日（火）までに左記へ直接お申し込み下さい。お名前・参加人数・連絡先をお知らせください。集合時間の指示があります。

裏千家茶道教授 古屋敷宗桂 ふるやふしきむねけい

【電話】〇三（三三三三）七八二一

【携帯】〇九〇（四六二三）七二一一

【メール】keiko\_fy2008@yahoo.co.jp